

平成31年度
全国学力・学習状況調査

北見市の調査結果の概要

令和元年9月
北見市教育委員会



平成31年度 全国学力・学習状況調査 北見市の結果等の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- 小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部の第6学年の児童
- 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部の第3学年の生徒

3 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査

ア 小学校調査は、国語・算数とし、中学校調査は、国語・数学・英語とする。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

※上記を一体的に問う。

ウ 出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

② 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

4 調査方式

悉皆調査（対象の全児童生徒）

5 調査期日

平成31年（2019年）4月18日（木）

6 調査を実施した学校・児童生徒数

	小学校児童数	中学校生徒数
全国（公立）	1,028,203	938,888
北海道（公立）	38,837	37,859
北見市	885	881

7 令和元年度北見市教育委員会「全国学力・学習状況調査」の結果公表取扱要領

（令和元年7月10日 北見市教育委員会決定）

平成31年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領（平成30年12月14日付文部科学省決定）に基づき、北見市教育委員会における「全国学力・学習状況調査」の結果公表の取扱いを次のとおり定める。

（1）北見市の小・中学校全体の結果概要については公表する。

教育委員会が保護者や地域住民に対して、説明責任を果たすことが重要であることから、北見市の小・中学校全体の教科等に関する調査結果について公表する。具体的な結果公表の内容としては、「小学校」「中学校」別に、次のような内容で提示する。

- ① 平均正答数や平均正答率については、公表する。
- ② 全国や全道との比較ができる図などで結果の概要について示す。
- ③ 児童生徒の学習成果などについて示す。
- ④ 北見市の学力における取組について示す。
- ⑤ その他「特徴的なこと」についてグラフや図等で示す。

（2）北見市教育委員会として、個々の学校の調査結果については公表しない。

学校別の結果公表によって、序列化や過度な競争が生じることが考えられることから、北見市教育委員会として、個々の学校の結果公表は行わない。

（3）「全国学力・学習状況調査」の結果公表取扱については、毎年度決定する。

「全国学力・学習状況調査」の結果公表の取扱に関しては、毎年度、北見市教育委員会で審議し決定する。

Ⅱ 調査結果の概要

1 調査結果の概況

(1) 小学校

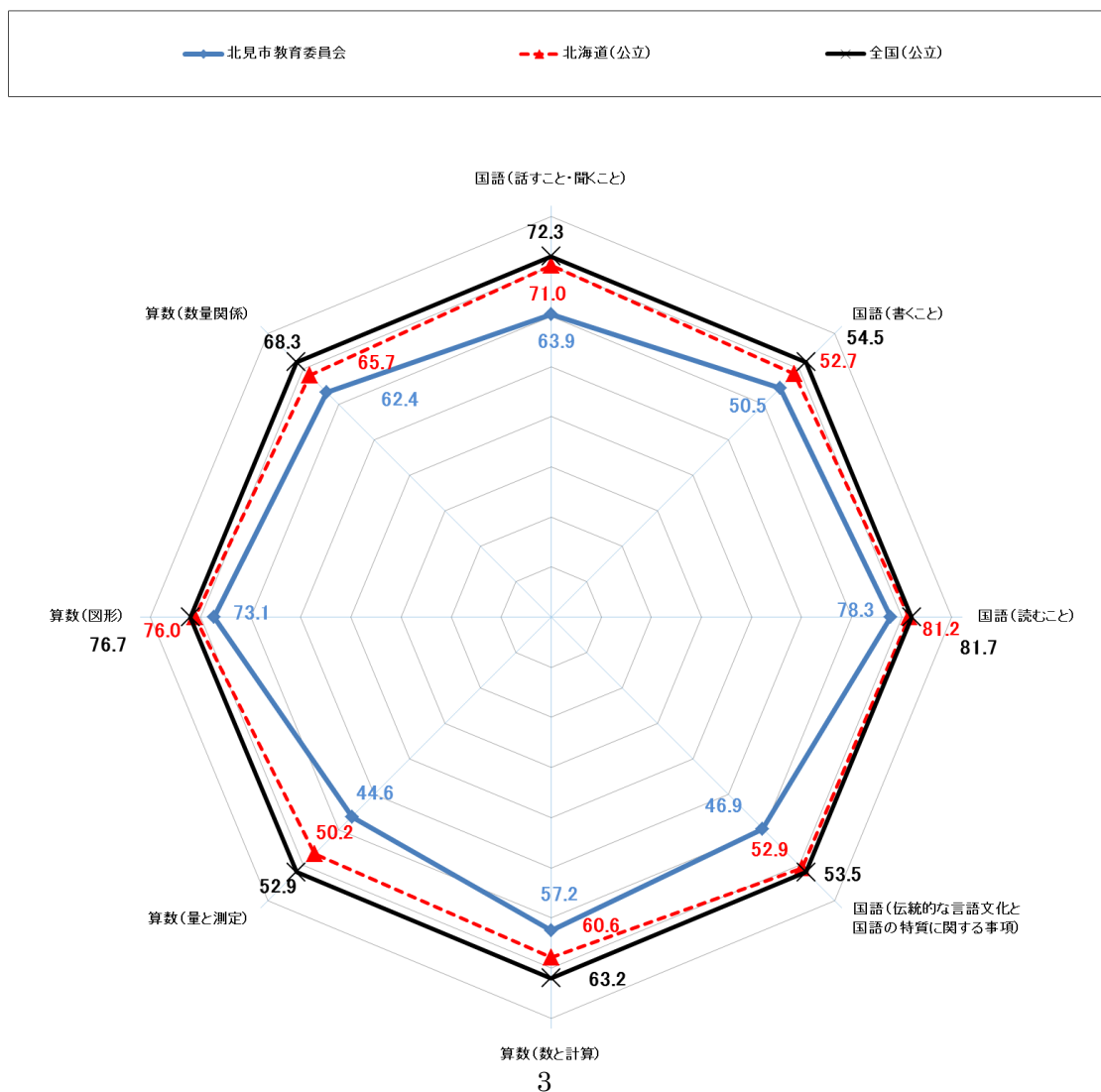
①平均正答率および平均正答数

	国語		算数	
	全14問中		全14問中	
	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数
北見市	58.1%	8.1問	60.8%	8.5問
北海道	62.8%	8.8問	64.5%	9.0問
全国	63.8%	8.9問	66.6%	9.3問
全国との差	-5.7%	-0.8問	-5.8%	-0.8問

※平均正答率＝全正答数÷全問題数×100【例(北見市)：国語 7177問÷12362問×100】

※平均正答数＝正答率×問題数÷100【例(北見市)：国語 58.1%×14問÷100】

②全教科の領域別正答率グラフ



③各教科の課題等

【国語】

- ◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」に課題が見られました。
- 必要な情報を得るために、話し手の意図を捉えながら聞いたり、自分の考えをまとめたりする力を育成することが大切です。
- 情報を相手に分かりやすく伝えるために、文章の書き方を工夫する力を育成することが大切です。

多くの児童ができている内容

- ◇漢字を文の中で正しく使うこと
- ◇目的に応じて、文章全体をおおまかに読むこと
- ◇文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと

課題が見られる内容

- ◆話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること
- ◆目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと
- ◆文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと

【算数】

- ◎「量と測定」「数と計算」に課題が見られました。
- 二つの量の割合について、その比べ方や表し方を理解する力を育成することが大切です。
- 計算の仕方を解釈して活用したり、計算に関して成り立つ性質を表現したりする力を育成することが大切です。

多くの児童ができている内容

- ◇グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること
- ◇基本的な平面図形について理解していること
- ◇日常生活の事象から、伴って変わる二つの数量を見いだすこと

課題が見られる内容

- ◆図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を言葉や数を用いて記述すること
- ◆計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述すること
- ◆除法の式の意味を理解していること

(2) 中学校

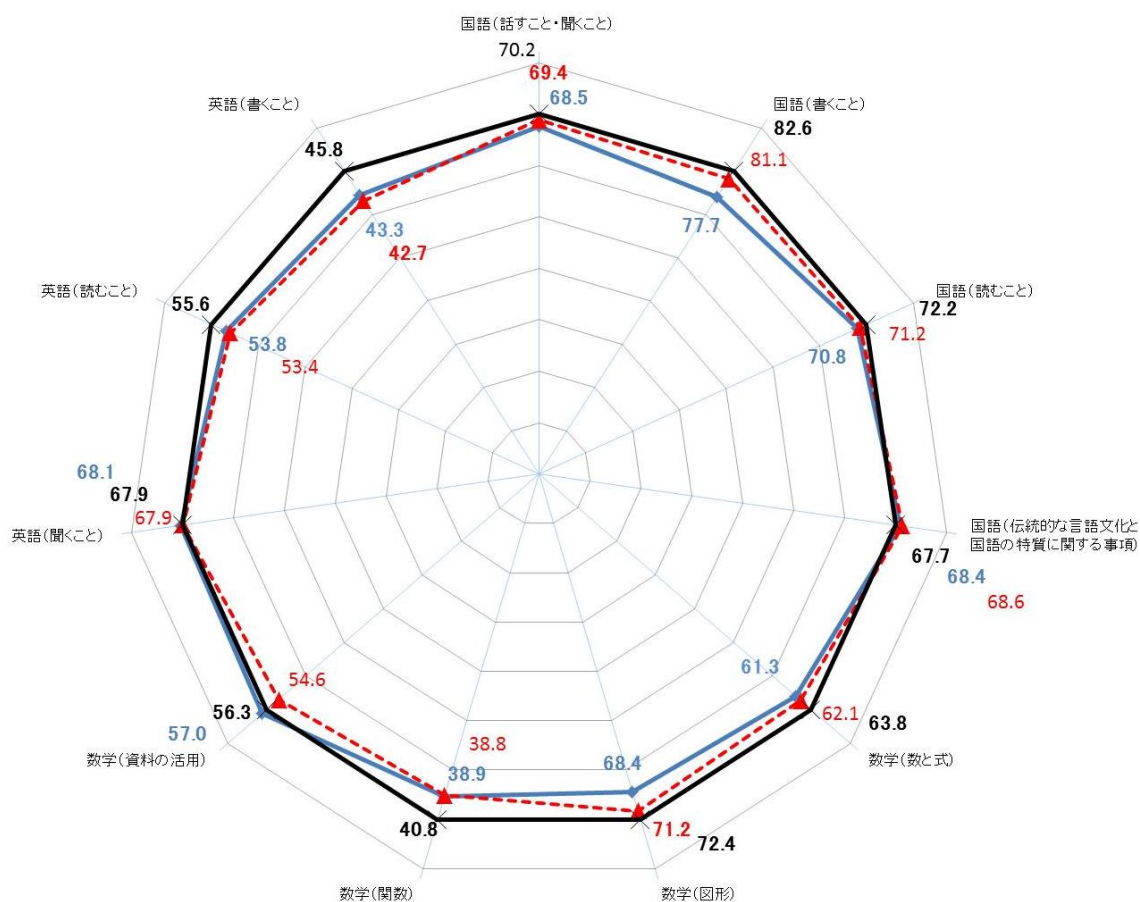
①平均正答率および平均正答数

	国語		数学		英語	
	全10問中		全16問中		全21問中	
	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数
北見市	71.0%	7.1問	57.8%	9.2問	54.6%	11.5問
北海道	72.1%	7.2問	58.1%	9.3問	54.2%	11.4問
全国	72.8%	7.3問	59.8%	9.6問	56.0%	11.8問
全国との差	-1.8%	-0.2問	-2.0%	-0.4問	-1.4%	-0.3問

※平均正答率＝全正答数÷全問題数×100【例(北見市)：国語 6255問÷8810問×100】

※平均正答数＝正答率×問題数÷100【例(北見市)：国語 71.0%×10問÷100】

②全教科の領域別正答率グラフ



③各教科の課題等

【国語】

◎「書くこと」に課題が見られました。

○読み手に対して、どの部分が根拠であるか明確になるような表現上の工夫をしたり、実例やデータを加えたりするなど、分かりやすい文章を書く力を育成することが大切です。

多くの生徒ができている内容

◇文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもつこと。

◇文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること

課題が見られる内容

◆伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと

◆封筒の書き方を理解して書くこと

【数学】

◎「関数」に課題が見られました。

○与えられた情報を読み、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できる力を育成することが大切です。

多くの生徒ができている内容

◇平行移動の意味を理解していること

◇資料の傾向を読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

課題が見られる内容

◆一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること

◆一次関数を用いて具体的な事象をとらえ、説明すること

【英語】

◎「書くこと」に課題が見られました。

○基本的な語や文法事項等を理解して、正しく文を書く力を育成することが大切です。

多くの生徒ができている内容

◇日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること

課題が見られる内容

◆与えられた情報に基づいて、肯定文や否定文を正確に書くこと

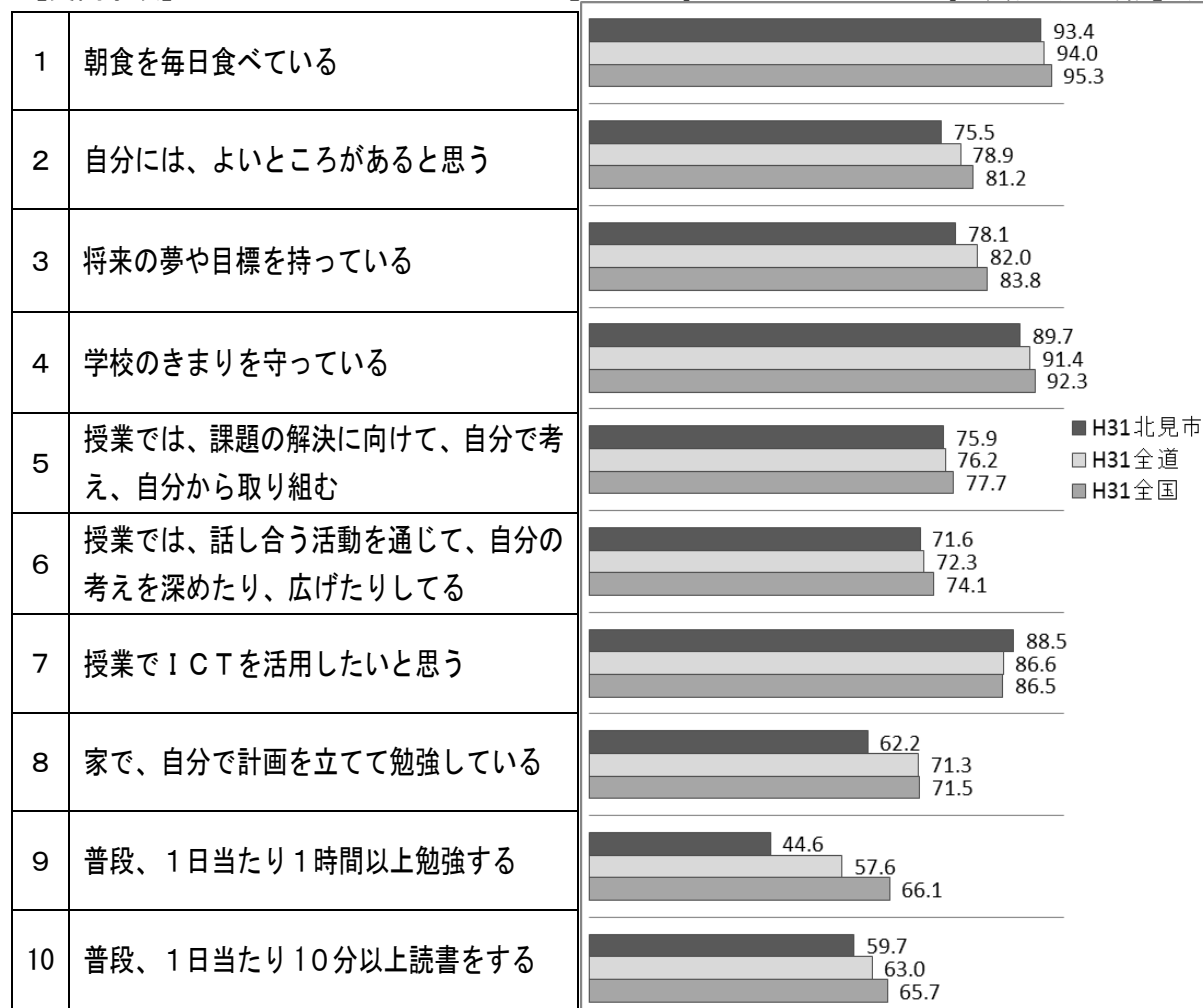
Ⅲ 児童生徒質問紙調査の結果概要

1 児童生徒の学習環境・生活環境に関する調査結果（抜粋）

（1）小学校

【質問事項】

【「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合】（％）



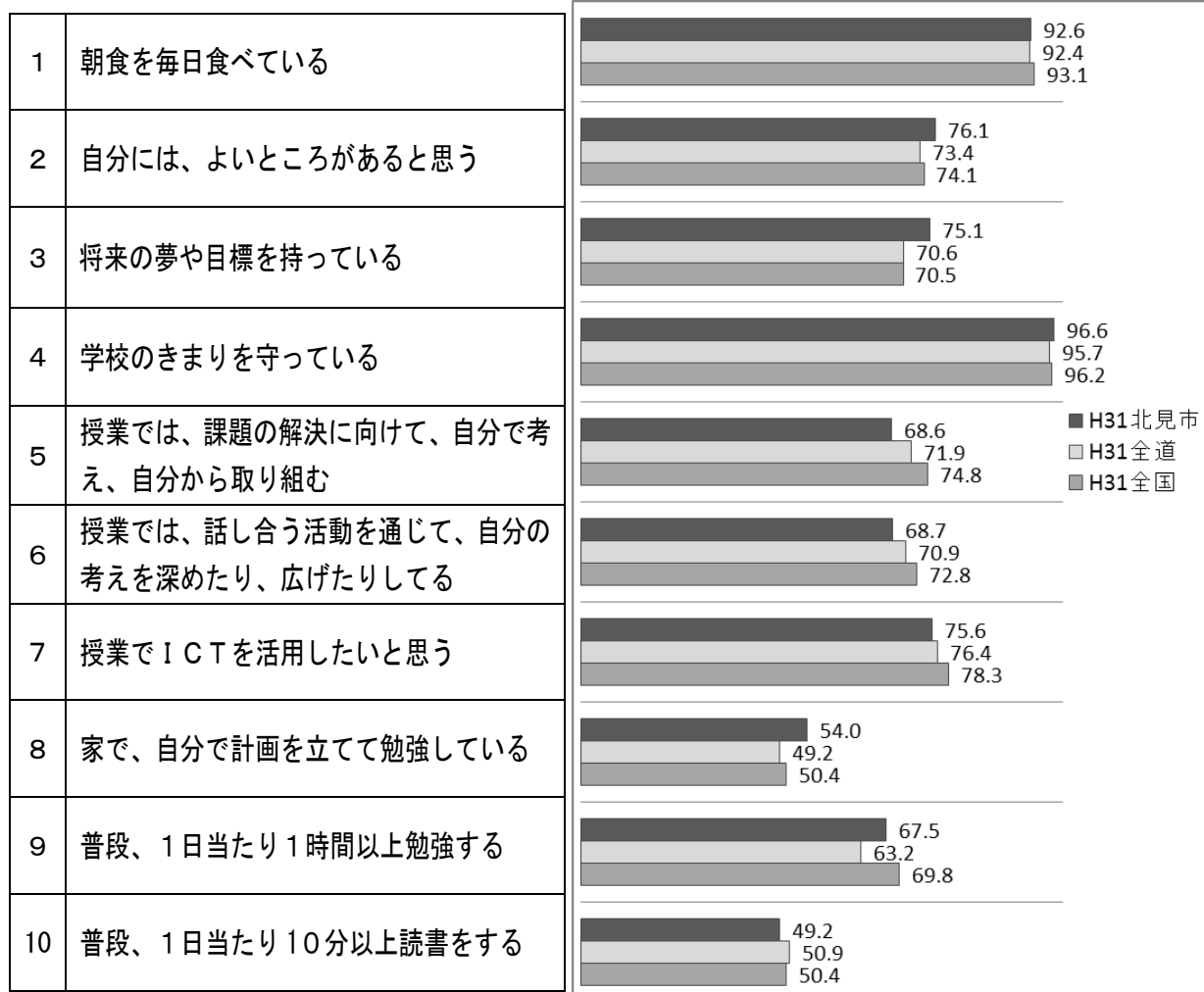
【結果の考察】

- ◇ 学校のきまりを守っている児童の割合は、89.7%であり、昨年度と比べて2.5ポイント高く、全国と比べて2.6ポイント低くなっています。
- ◇ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童の割合は、75.9%であり、昨年度と比べて2.0ポイント高く、全国と比べて1.8ポイント低くなっています。また、授業でICTを活用したいと思っている児童の割合は、88.5%であり、全国と比べて2.0ポイント高くなっています。
- ◆ 家で、自分で計画を立てて勉強している児童の割合は、62.2%であり、昨年度と比べて1.8ポイント高く、全国と比べて9.3ポイント低くなっています。また、普段、1日当たり1時間以上勉強する児童の割合は、44.6%であり、昨年度と比べて1.0ポイント高く、全国と比べて、21.5ポイント低くなっています。

(2) 中学校

【質問事項】

【「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合】(%)



【結果の考察】

- ◇ 自分には、よいところがあると思っている生徒の割合は、76.1%であり、全国と比べて2.0ポイント高くなっています。また、将来の夢や目標を持っている生徒の割合は、75.1%であり、全国と比べて4.6ポイント、昨年度と比べて1.6ポイント高くなっています。
- ◇ 学校のきまりを守っている生徒の割合は、96.6%であり、全国と比べて0.4ポイント、昨年度と比べて2.5ポイント高くなっています。
- ◇ 家で、自分で計画を立てて勉強している生徒の割合は、54.0%であり、全国と比べて、3.6ポイント高くなっています。また、普段、1日当たり1時間以上勉強する生徒の割合は、67.5%であり、昨年度と比べて0.8ポイント高く、全国と比べて2.3ポイント低くなっています。
- ◆ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒の割合は、68.6%であり、全国と比べて6.2ポイント低くなっています。

Ⅳ 学力向上の取組

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった課題の改善に向けて、次のとおり、学力向上の取組を進めていきます。

【基本的な考え方】

- ◎ 日常の授業改善による教員の指導力向上
- ◎ 学習規律の徹底と教室環境づくり
- ◎ ICTの活用による「わかる」授業づくり
- ◎ 保護者との連携による家庭学習の習慣化
- ◎ 読書活動の推進

【具体の取組】～「北見市学力向上3つのスタンダード」で継続的に指導の質を高める～

○ 学習環境を「つくる」

- ・ 授業に生きる学習規律と教室環境の整備（学校力向上実践指定校の取組を活用）
- ・ 「家庭学習の手引き」（学力向上推進委員会編）の活用による学習時間の確保
- ・ 朝読書や家庭における読書の推進（学校司書の効果的な活用）

○ 指導技術を「みがく」

- ・ 授業づくり研修会・学級づくり研修会の実施（北見市指導力向上推進事業）
- ・ 授業改善に直結する校内研修の推進（北見市研究指定校による公開研究会・実践発表）
- ・ 適切な指導計画による「わかる」授業の実践（授業改善推進チーム活用事業）

○ 指導方法を「工夫する」

- ・ 子どもの集中力を高めるICTの有効活用（ICT活用研修会の開催）
- ・ わかりやすい板書とノート指導、書く活動を重視した授業展開（学校訪問等による助言）
- ・ 学級経営、授業、指導に役立つ情報提供（北見市教育委員会だより「EDUCA」の発行）

北見市の子どもたち一人一人に「確かな学力」を育むことができるように、学習指導の質の向上に努めてまいります。今後とも市民の皆さまの学校教育、家庭教育へのご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年9月 北見市教育委員会